



各 位

東京都港区西新橋一丁目6番21号
 インヴァスト証券株式会社
 代表取締役社長 川路 猛
 (JASDAQ コード : 8709)
 問合せ先 : 執行役員CFO 二重作 将人
 (TEL 03-3595-4133)

平成 29 年 3 月期業績と前期実績との差異に関するお知らせ

平成 29 年 3 月期 (平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日) の連結業績につき、前期実績との間に差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 29 年 3 月期連結業績と前期実績との差異

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前 期 実 績 (A) (平 成 2 8 年 3 月 期)	百万円 3,785	百万円 311	百万円 282	百万円 △404	円 銭 △68.93
当 期 実 績 (B) (平 成 2 9 年 3 月 期)	3,548	△42	△70	△118	△20.27
増 減 額 (B - A)	△237	△354	△352	—	—
増 減 率 (%)	△6.3	—	—	—	—

2. 差異が生じた理由

当期におきましては、主力の店頭FX事業において、シストレ24「フルオート」機能のリリース等により、当社独自の付加価値サービス提供による競合他社との差別化、収益基盤拡大に注力すると同時に、ETF (上場投資信託) を対象とした資産運用サービス「トライオートETF」の開始により、新たな顧客層の開拓を進めました。また、連結豪子会社Invast Financial Services Pty Ltd. においては、大手法人顧客への営業強化による成果があらわれ、預り証拠金、営業収益は順調に拡大し、当期において黒字転換しております。

しかしながら、店頭FXにおける業界最狭水準スプレッドの提供による収益率の低下と、低ボラティリティ相場の影響を受け、取引所FXの取引量が減少したこと、新サービス「トライオートETF」の事業モデル模索により費用が先行したこと等に起因して、営業収益は35億48百万円、営業損失42百万円、経常損失70百万円と前期を下回りました。

これに、連結豪子会社のオフィス移転に伴う賃貸借契約解約益等を含む合計28百万円の特別利益を計上した一方で、固定資産減損損失、非上場株式の投資有価証券評価損等による合計61百万円を特別損失として計上した結果、親会社株主に帰属する当期純損失は1億18百万円となりました。

詳細につきましては、本日発表の「平成29年3月期 決算短信[日本基準] (連結)」をご参照ください。

以上